

京丹後市教育振興計画

施策評価・進捗管理調書(内部評価結果)

| 担当課 | 担当課長 |
|--------|--------|
| 学校教育課 | 松本 晃治 |
| 生涯学習課 | 引野 雅文 |
| 子ども未来課 | 小西 智恵子 |

| | |
|-------|--|
| 重点目標 | 4 豊かな人間性・社会性を育みます |
| 基本の方針 | 学校園、家庭、地域及び行政の協働により、子どもたちが周囲からの愛情や信頼、期待などに「包み込まれているという感覚」を育むとともに、人や社会との絆、思いやりを大切にする豊かな人間性・社会性を育みます。 また、不登校等の課題がある児童生徒一人ひとりに応じたきめ細かな指導を行います。 |

1. 施策の方向性 PLAN

| | |
|------------------------|---|
| 1. 人を思いやり、尊重する社会性の育成 | ①小中一貫教育による学校園や校種を超えた交流授業や合同行事など、多様な集団での活動を充実し、子どもたちの自尊感情を高めるとともに、豊かな人間関係や社会性を育みます。 ②生命を大切にする心や他人を尊重する心などを育むとともに、すべての教育活動において、就学前から中学校までの系統性・一貫性のある道徳教育や人権教育を推進します。 ③地域の人々との幅広い交流の機会を拡充することで、ルールやマナー、社会常識、社会性を育みます。 ④各中学校区において、学校園、家庭及び地域が子どもたちの生活実態や課題を共有し、規範意識や社会性を高める取り組みを協働して進めます。 ⑤情報機器の適切な使用やSNSに代表される情報通信ネットワークのルール・モラル等について、児童生徒の実態に応じて具体的に指導するとともに、専門家や学校支援ボランティア等と連携し、系統的かつ一貫性のある指導体制を整備します。 |
| 2. 生徒指導体制、教育相談体制の充実 | ①子どもたちが集団生活を通して課題を解決する意欲と実践力を身に付けることができるよう、一人ひとりの生活実態の把握や内面理解の充実を図ります。 ②学校園の状況に応じてスクールサポーターを配置するなど、子ども一人ひとりの課題やニーズに対応するきめ細かな支援体制を整備します。 ③いじめの防止等に関する基本的な方針を基に、組織体制の整備を行うとともに、関係機関と連携し対策の総合的な実施を一層推進します。 ④不登校等の児童生徒の多様な実態と課題に対応し、学校復帰を目指すため、教育支援センター「麦わら」の相談支援機能を高めます。 |
| 3. 家庭・地域の教育力の向上 | ①各中学校区の学校園、家庭及び地域が、育みたい子ども像や児童生徒の実態及び課題を共有し、緊密に連携して指導を行っていくことを進めます。 ②家庭は自己肯定感や豊かな心、他者に対する思いやりや命を大切にする気持ちなどを養う最も重要な役割を担うため、就学前から青年期までの子どもの成長段階に応じた家庭教育支援を進めます。 ③子どもの豊かな人間性・社会性を育むとともに、孤立しがちな親や子育てに悩みを抱えている親への支援等のため、すべての町域における家庭教育支援チームの活動を進めるとともに、関係団体の活動を支援します。 ④子どもたちが身近な地域で体験や交流ができる活動を充実します。 ⑤地域における子どもたちの活動拠点を確保し、地域ボランティアの協力を得て様々な体験活動、地域住民との交流活動を行う地域子ども教室の拡充を進めます。 ⑥青少年の健全育成と安全・安心な地域づくりのため、青少年健全育成会をはじめ、関係団体と連携した効果的な活動を進めます。 |
| 4. 芸術文化を通じた豊かな感性、情緒の育成 | ①子どもが生涯にわたって芸術や自然を愛する心や豊かな感性を育むための体験活動や、学校支援ボランティア等の専門的な知見や技能を活用するなど、我が国や京丹後市の伝統文化や自然環境、文化・芸術等に親しみ、学ぶ機会を充実します。 ②学校園や家庭での読書活動により子どもの豊かな情緒を育むため、関係機関・団体等との連携・協力関係をさらに強化し、学校園、家庭及び地域が一体となった取り組みを進めるとともに、学校図書館の機能強化を図ります。 |

【参考】施策に関連するその他の計画

| 計画名称 | 計画概要 | 策定年月 | 計画期間 | 備考 |
|----------------|--|----------|---------------|----------------------------|
| 第2次京丹後市総合計画 | 市の目指す基本理念、目標、将来像などを示した「基本構想」と、その構想を実現するための各種施策を総合的、計画的に体系化した「基本計画」 | 平成27年3月 | 平成27年度～平成36年度 | |
| 京丹後市いじめ防止等基本方針 | 国、府、学校、地域社会、家庭及びその他の関係者が連携のもと、社会総がかりでいじめの問題の克服に向けて取り組むとともに、いじめ防止対策推進法第12条の規定に基づき、いじめの防止、いじめの早期発見及びいじめへの対処のための対策を総合的かつ効果的に推進するために策定 | 平成26年6月 | 計画期間の定めなし | 策定から3年経過を目途に見直し(平成30年度見直し) |
| 京丹後市学校教育改革構想 | 中学校卒業時に期待される学力をすべての生徒が確実に身に付けることができるようにしていくため、保育所・幼稚園、小学校、中学校の10年間を見据え、より系統的で一貫性のある教育を実践するための構想を策定 | 平成24年11月 | 計画期間の定めなし | |

| 2. 主な取組と構成事務事業一覧 | | PLAN | DO | CHECK | ACT |
|--|------------|--------------------------------|---------|---------|---------------|
| | | ※各事業の評価・課題について は、別紙決算附属資料参照 | | | |
| 1. 人を思いやり、尊重する社会性の育成 | | 決算額(単位:千円) | | | 事務の改善 |
| 主な取り組み | | H28決算額 | H29決算額 | H30予算額 | 評価を踏まえた今後の方向性 |
| ① 事務事業名称・事業内容(実績) | 担当課 | | | | |
| ① 小中一貫教育による学校園や校種を超えた交流授業や合同行事など、多様な集団での活動を充実し、子どもたちの自尊感情を高めるとともに、豊かな人間関係や社会性を育みます。 | | | | | |
| ② 生命を大切にする心や他人を尊重する心などを育むとともに、すべての教育活動において、就学前から中学校までの系統性・一貫性のある道徳教育や人権教育を推進します。 | | | | | |
| ③ 地域の人々との幅広い交流の機会を拡充することで、ルールやマナー、社会常識、社会性を育みます。 | | | | | |
| ④ 各中学校区において、学校園、家庭及び地域が子どもたちの生活実態や課題を共有し、規範意識や社会性を高める取り組みを協働して進めます。 | | | | | |
| ⑤ 情報機器の適切な使用やSNSに代表される情報通信ネットワークのルール・モラル等について、児童生徒の実態に応じて具体的に指導するとともに、専門家や学校支援ボランティア等と連携し、系統的かつ一貫性のある指導体制を整備します。 | | | | | |
| 1 小学校教育推進活動実践事業 | 学校教育課 | 2,738 | 2,237 | 2,436 | 現状維持 |
| 国府等の研究指定校を受けて教育活動に取り組むとともに、体験活動や総合的な学習活動の充実、特色ある教育等を実践し、基礎学力の向上や豊かな人間性の育成を図る。 | | | | | |
| 2 中学校教育推進活動実践事業 | 学校教育課 | 1,524 | 1,377 | 1,282 | 現状維持 |
| 国府等の研究指定校を受けて教育活動に取り組むとともに、体験活動や総合的な学習活動の充実、特色ある教育等を実践し、基礎学力の向上や豊かな人間性の育成を図る。 | | | | | |
| 2. 生徒指導体制、教育相談体制の充実 | 決算額(単位:千円) | | | | 事務の改善 |
| 主な取り組み | | H28決算額 | H29決算額 | H30予算額 | 評価を踏まえた今後の方向性 |
| ① 事務事業名称・事業内容(実績) | 担当課 | | | | |
| ① 子どもたちが集団生活を通して課題を解決する意欲と実践力を身に付けることができるよう、一人ひとりの生活実態の把握や、内面理解の充実を図ります。 | | | | | |
| ② 学校園の状況に応じてスクールソポーターを配置するなど、子ども一人ひとりの課題やニーズに対応するきめ細かな支援体制を整備します。 | | | | | |
| ③ いじめの防止等に関する基本的な方針を基に、組織体制の整備を行うとともに、関係機関と連携し対策の総合的な実施を一層推進します。 | | | | | |
| ④ 不登校等の児童生徒の多様な実態と課題に対応し、学校復帰を目指すため、教育支援センター「麦わら」の相談支援機能を高めます。 | | | | | |
| 3 いじめ防止啓発推進事業 | 学校教育課 | 216 | 194 | 254 | 現状維持 |
| 「京丹後市いじめ防止等基本方針」に基づくいじめ防止等の啓発活動を実施し、市と市民が一体となっていじめの防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進する。 | | | | | |
| 4 いじめ防止対策等運営事業 | 学校教育課 | 248 | 212 | 415 | 現状維持 |
| いじめ問題対策連絡会議及びいじめ防止対策等専門委員会を設置し、関係機関が一体となって、いじめの防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進する。 | | | | | |
| 5 指導主事設置事業 | 学校教育課 | 9,821 | 9,939 | 9,879 | 現状維持 |
| 非常勤指導主事を配置し、学校教育及び就学前教育の充実を図るとともに、円滑な学校経営を推進する。 | | | | | |
| 6 就学支援・教育相談事業 | 学校教育課 | 2,162 | 1,724 | 515 | 現状維持 |
| 児童生徒の不登校や問題行動の状況を把握・分析し、相談・支援体制を整え、児童生徒が安定した学校生活を送れるように支援する。 | | | | | |
| 7 教育支援センター管理運営事業 | 学校教育課 | 7,894 | 8,308 | 9,435 | 現状維持 |
| 不登校、又はその傾向にある児童生徒の学校生活への復帰と社会的自立を支援する。 | | | | | |
| 8 小学校スクールソポーター等設置事業 | 学校教育課 | 48,833 | 48,324 | 44,094 | 現状維持 |
| スクールソポーターを配置し、児童一人ひとりの課題・特性を的確に把握し、よりきめ細やかな指導に努めるとともに、円滑な授業を実施する。 | | | | | |
| 9 中学校スクールソポーター等設置事業 | 学校教育課 | 46,606 | 44,918 | 36,305 | 現状維持 |
| スクールソポーターを配置し、生徒一人ひとりの課題・特性を的確に把握し、よりきめ細やかな指導に努めるとともに、円滑な授業を実施する。 | | | | | |
| 3. 家庭・地域の教育力の向上 | 決算額(単位:千円) | | | | 事務の改善 |
| 主な取り組み | | H28決算額 | H29決算額 | H30予算額 | 評価を踏まえた今後の方向性 |
| ① 事務事業名称・事業内容(実績) | 担当課 | | | | |
| ① 各中学校区の学校園、家庭及び地域が、育みたい子ども像や児童生徒の実態及び課題を共有し、緊密に連携して指導を行うしくみづくりを進めます。 | | | | | |
| ② 家庭は自己肯定感や豊かな心、他者に対する思いやりや命を大切にする気持ちなどを養う最も重要な役割を担うため、就学前から青年期までの子どもの成長段階に応じた家庭教育支援を進めます。 | | | | | |
| ③ 子どもの豊かな人間性・社会性を育むとともに、孤立しがちな親や子育てに悩みを抱えている親への支援等のため、すべての町域における家庭教育支援チームの活動を進めるとともに、関係団体の活動を支援します。 | | | | | |
| ④ 子どもたちが身近な地域で体験や交流ができる活動を充実します。 | | | | | |
| ⑤ 地域における子どもたちの活動拠点を確保し、地域ボランティアの協力を得て様々な体験活動、地域住民との交流活動を行う地域子ども教室の拡充を進めます。 | | | | | |
| ⑥ 青少年の健全育成と安全・安心な地域づくりのため、青少年健全育成会をはじめ、関係団体と連携した効果的な活動を進めます。 | | | | | |
| 10 家庭こども相談室事業 | 子ども未来課 | 312 | 533 | 2,325 | 現状維持 |
| 家庭児童の適正な養育及び福祉の向上を図る。 | | | | | |
| 11 家庭教育事業 | 生涯学習課 | 1,626 | 1,681 | 2,081 | 現状維持 |
| 子どもの成長の基礎となる家庭教育を推進するため、発達段階に応じた学習機会を提供し、きめ細やかな家庭教育の支援を実施する。 | | | | | |
| 12 放課後児童健全育成事業 | 子ども未来課 | 151,160 | 166,462 | 167,744 | 現状維持 |
| 保護者の就労等により放課後及び長期休業期の昼間に家庭保育を受けることのできない児童に対し、安全で充実した生活の場を与えることにより、その健全な育成を図る。 | | | | | |

| | | | | | |
|---|----------------------|---------|---------|---------|---------------|
| 13 子ども放課後対策推進事業 | 子ども未来課 | 1,133 | 883 | 908 | 現状維持 |
| 放課後等に小学校の余裕教室等を子どもたちの安全・安心な居場所として活用し、地域住民の参画により、子どもたちが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。 | | | | | |
| 4. 芸術文化を通じた豊かな感性、情緒の育成 | 決算額(単位:千円) | | | | 事務の改善 |
| 主な取り組み | H28決算額 H29決算額 H30予算額 | | | | 評価を踏まえた今後の方向性 |
| ↓ 事務事業名称・事業内容(実績) 担当課 | | | | | |
| ① 子どもが生涯にわたって芸術や自然を愛する心や豊かな感性を育むための体験活動や、学校支援ボランティア等の専門的な知識や技能を活用するなど、我が国や京丹後の市伝統文化や自然環境、文化・芸術等に親しみ、学ぶ機会を充実します。 | | | | | |
| ② 学校園や家庭での読書活動により子どもの豊かな情緒を育むため、関係機関・団体等との連携・協力関係をさらに強化し、学校園、家庭及び地域が一体となった取り組みを進めるとともに、学校図書館の機能強化を図ります。 | | | | | |
| | | | | | |
| 上記の「主な取り組み」への位置付けが困難な事業 | 決算額(単位:千円) | | | | 事務の改善 |
| 事務事業名称・事業内容(実績) 担当課 | H28決算額 H29決算額 H30予算額 | | | | 評価を踏まえた今後の方向性 |
| 14 放課後子ども総合プラン事業 | 子ども未来課 | 45 | 0 | - | 統合(整理) |
| 国の「放課後子ども総合プラン」に基づき実施する、放課後子ども教室の運営方法を検討するため運営委員会は、任期満了に伴い、必要な審議等を子ども未来まちづくり審議会にて行うこととした。 | | | | | |
| | 計 | 274,318 | 286,792 | 277,673 | |

3. 教育振興計画で掲げている主な目標指標

| 基本の方針 | 目標指標 | 単位 | 計画作成時 | | 実績値(現状) | | 目標値 | |
|--------|-------------------------------|----|-------------------------------------|---|---------|--------------|-------|-----|
| | | | 年度 | 年度 | 年度 | 年度 | 年度 | 年度 |
| | 不登校児童の発生率<小学校> | — | 5人/0.16% | H25 | 0.31 | H29 | 減少させる | H36 |
| | 不登校生徒の発生率<中学校> | — | 47人/2.49% | H25 | 2.75 | H29 | 減少させる | H36 |
| | いじめの認知件数/発生率<小学校> | — | 386件/12.7% | H25 | 293件 | H29 11.2% | 減少させる | H36 |
| | いじめの認知件数/発生率<中学校> | — | 189件/10.2% | H25 | 9件 | H29 2.1% | 減少させる | H36 |
| | 認知されたいじめの年度内解消率<小学校> | — | 357件/92.5% | H25 (いじめの解消要件が定義されたため、平成29年度第2回調査の追跡調査結果を記載) | 95.9 | H29 | 100% | H36 |
| | 認知されたいじめの年度内解消率<中学校> | — | 181件/95.8% | H25 (いじめの解消要件が定義されたため、平成29年度第2回調査の追跡調査結果を記載) | 100 | H29 | 100% | H36 |
| 主な目標指標 | いじめはいけないことだという意識がある児童の割合<小学校> | % | 97.0 「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問用紙 小6 | H25 | 98.7 | H29 | 増加させる | H36 |
| | いじめはいけないことだという意識がある生徒の割合<中学校> | % | 90.9 「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問用紙 中3 | H25 | 91.4 | H29 | 増加させる | H36 |
| | 学校のきまりや規則を守る意識がある児童の割合<小学校> | % | 93.8 「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問用紙 小6 | H25 | 96.0 | H29 | 増加させる | H36 |
| | 学校のきまりや規則を守る意識がある生徒の割合<中学校> | % | 90.8 「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問用紙 中3 | H25 | 98.1 | H29 | 増加させる | H36 |
| | 人の気持ちが分かる人間になりたいと思う児童の割合<小学校> | % | 94.4 「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問用紙 小6 | H25 (全国学力・学習状況調査から外れたため京都市学力・学習問題項目による) | 94.6 | H29 | 増加させる | H36 |
| | 人の気持ちが分かる人間になりたいと思う生徒の割合<中学校> | % | 95.2 「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問用紙 中3 | H25 (全国学力・学習状況調査から外れたため京都市学力・学習問題項目による) | 95.3 | H29 | 増加させる | H36 |

| | | | | | |
|----------------------------|---|-------------------------------------|-----|----------|---------------------|
| 人の役に立つ人間になりたいと思う児童の割合<小学校> | % | 94.0 「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問用紙 小6 | H25 | 94.9 H29 | CHECK ACT 増加させる H36 |
| 人の役に立つ人間になりたいと思う生徒の割合<中学校> | % | 93.2 「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問用紙 中3 | H25 | 93.5 H29 | CHECK ACT 増加させる H36 |

4. 施策の進捗状況の評価と今後の課題[基本的方針の達成に向け、施策がどの程度進捗しているか]

CHECK ACT

| 進捗状況区分 | 評価 | 29年度成果と今後の課題 |
|--------------|----|--|
| ◎ 予定以上に進んでいる | | 《不登校児童生徒の発生率》 不登校児童生徒の発生率は、小中一貫教育の推進による各校園での未然防止を重点とした取組や確実な情報の共有等によって、不登校解消に一定の成果は上がっているものの、不登校の出現率が増加傾向にある。特に中学校では、前年度比0.4%の増加となっており、出現率を減少させるための効果的な未然防止の取組が必要である。 |
| ○ 予定どおり進んでいる | | 《いじめの認知件数/発生率》 いじめの認知件数は、児童生徒への日常の指導、実態把握や情報共有、小中一貫教育における各学園の取組等によって、小中学校とも減少傾向にあるが、小学校では、低学年の認知件数が多く特に1年生の認知件数が増加している。引き続き、些細な兆候も見逃さない組織的な対応を行うとともに、認知件数のみにとらわれず、より丁寧な指導を継続していく必要がある。 《認知されたいじめの年度内解消率》 国のいじめの解消要件の定義にあわせて、平成29年度から京都府調査が見直されたため、認知されたいじめの年度内解消率は、第2回いじめ調査の認知事象に基づく追跡調査結果により算出した。各校では、学校いじめ防止基本方針に基づきいじめ調査等による実態把握や教職員の情報共有、組織的対応、丁寧な指導を行っており、引き続き体制強化を進めていく必要がある。 |
| ▲ 少し遅れている | | 《いじめはいけないことだという意識がある児童生徒の割合》 いじめはいけないことだという意識がある児童生徒の割合は、年間3回のいじめ調査や児童生徒への丁寧な指導により、小学校でやや低下したものの中学校では増加し、小中学校ともに高い水準にある。今後も児童生徒の豊かな心を育成するため、道徳科はもとより学校の教育活動全体を通じた取組を進めていく必要がある。 |
| × 大幅に遅れている | | 《学校のきまりや規則を守る意識がある児童生徒の割合》 学校のきまりや規則を守る意識がある児童生徒の割合は、小中学校ともに増加し、各校園におけるきめ細かな指導及び小中一貫教育による一貫性のある指導等によって、確実に規範意識が高まっている状況が見られる。引き続き、小学校低学年からの規範意識の醸成についての系統的な指導を進めていく必要がある。 《人の気持ちが分かる人間になりたいと思う児童生徒の割合》 人の気持ちが分かる人間になりたいと思う児童生徒の割合は、小中学校ともに増加し高い水準にある。教育活動全体を通じた丁寧な指導により、人の気持ちを分かって行動したり、発言したりすることの重要性が確実に身に付いていている。今後も個別の配慮児童生徒への丁寧な指導が必要である。 《人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合》 人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合は、小中学校ともにやや減少したものの、小中学校ともに高い水準にある。教育活動全体を通じた丁寧な指導により、社会貢献等への意識が確実に身に付いていている。今後更に高めていくため、ボランティア活動による体験学習等の充実を図る必要がある。 |

5. 今後の施策展開の考え方(平成30~32年度までの主な取組)

ACT

| 区分 | No. | 具体的内容 |
|----------|-----|---|
| 施策展開の考え方 | 1 | 子どもたちの自尊感情を高め、豊かな人間性・社会性を育むため、小中一貫教育による交流学習や合同行事などの集団活動を充実させるとともに、道徳科をはじめ学校の教育活動全体を通じた系統的で一貫性のある道徳・人権教育の更なる充実を図る。 |
| | 2 | いじめや不登校など、児童生徒の多様な課題に対応するため、臨床心理士による教育相談体制を拡充するとともに、教育支援センターの相談支援機能を更に高めるなど、個の課題やニーズに応じたきめ細かな相談支援体制の整備・強化を図る。 |
| | 3 | 地域の子ども教室では、体験活動だけでなく、教室間での情報交流についても支援しながら教室活動の維持、拡充に努める。青少年健全育成会では、各地域ごとに子どもの体験活動を実施するほか、あいさつ運動や夏休みバトロールなどで地域の子どもの見守り活動を継続する。また平成28年度からスタートした「放課後子ども教室」事業は、安定的運営を目指す。 |
| | 4 | 子どもたちの芸術や自然を愛する心豊かな感性を育むため、教育活動等における文化体験や芸術鑑賞など、学校支援ボランティア等を活用し、伝統文化や芸術等に親しむ機会を充実させるとともに、学校図書支援員の継続配置と学校図書の充足率向上を図る。 |

| 予算科目 | 10教育費 | 02小学校費 | 02教育振興費 | 04小学校教育推進事業 | 03中学校費 | 02教育振興費 | 04中学校教育推進事業 | |
|--|--|--|--|--|---------|---------|-------------|--|
| 細事業名 | 02 小学校教育推進活動実践事業 | | | | 決算書 | | P.144 | |
| 総合計画 | 計画項目 | 26 未来を拓く学校教育の充実 | 計画項目 | 26 未来を拓く学校教育の充実 | 決算額 | ① 最終予算額 | (参考) 当初予算額 | |
| | | | | | 1,377千円 | 1,514千円 | 137千円 | |
| 目的 | ・国府等の研究指定校を受けて教育活動に取り組むとともに、体験活動や総合的な学習活動の充実、特色ある教育等を実践し、基礎学力の向上や豊かな人間性の育成を図る。 | ・国府等の研究指定校を受けて教育活動に取り組むとともに、体験活動や総合的な学習活動の充実、特色ある教育等を実践し、基礎学力の向上や豊かな人間性の育成を図る。 | ・国府等の研究指定校を受けて教育活動に取り組むとともに、体験活動や総合的な学習活動の充実、特色ある教育等を実践し、基礎学力の向上や豊かな人間性の育成を図る。 | ・国府等の研究指定校を受けて教育活動に取り組むとともに、体験活動や総合的な学習活動の充実、特色ある教育等を実践し、基礎学力の向上や豊かな人間性の育成を図る。 | 1,314千円 | | | |
| 主要な事務 | ・事業の概要 | ・事業の概要 | ・事業の概要 | ・事業の概要 | | | | |
| ○教育実践研究指定事業 | ・ちうすぐ1年生体験入学推進事業 府指定：かぶと山小学校 | 80千円 | 200千円 | ○教育実践研究指定事業 ・法やルールに関する教育研究指定事業 府指定：久美浜中学校区 | 200千円 | | | |
| ○校外学習や仕事・文化体験活動、総合的な学習活動 | 1,217千円 | | | ○校外学習や仕事・文化体験活動、総合的な学習活動 | 569千円 | | | |
| ・「KYO発見 仕事・文化体験事業」推進事業（府指定：全校） | 547千円 | | | ・「KYO発見 仕事・文化体験事業」推進事業（府指定：全校） | 360千円 | | | |
| ・総合的な学習活動推進事業（市指定：全校） | 670千円 | | | ・総合的な学習活動推進事業（市指定：全校） | 209千円 | | | |
| ○サイエンス・パートナーシップ校 | 36千円 | | | ○和装教育推進事業 | 238千円 | | | |
| 児童の科学技術、理科、算数への興味・関心や知的探究心を育成するため、京都工芸繊維大学と連携し「理科わくわく体験教室」を実施。 | | | | ・着付け体験学習（全中学校） | | | | |
| 実施校：久美浜小学校 | | | | 受講生徒 529人 | | | | |
| 実施日：平成29年7月4日（火） | | | | | | | | |
| 受講児童：4年生 19人 | | | | | | | | |
| ○学力向上システム開発校 | 250千円 | | | ○教育研究事業負担金 | 112千円 | | | |
| 学力向上に係る課題に基づく実践上の取組を設定し、課題を克服するための新たな方策の開発に主体的に取り組む。 | | | | | | | | |
| 実施校：長岡小学校 | | | | | | | | |
| 実施年度：平成29年～30年度（2か年） | | | | | | | | |
| ○教育研究事業負担金 | 250千円 | | | ○修学旅行引率補助金 | 258千円 | | | |
| | | | | | | | | |
| ○修学旅行引率補助金 | 404千円 | | | ○修学旅行引率補助金 | 274千円 | | | |
| 府補 府補 府委 | KYO発見仕事・文化体験活動推進事業補助金（2/3） もうすぐ1年生体験入学推進事業補助金（1/2） 学力向上システム開発事業費託金（10/10） | 364千円 40千円 250千円 | | KYO発見仕事・文化体験活動推進事業補助金（2/3） もうすぐ1年生体験入学推進事業補助金（10/10） | 200千円 | | | |
| 成果 | ○国や府等の研究指定校を受けて教育活動に取り組むことで、児童の基礎学力の向上を図ることとともに、規範意識、コミュニケーション能力、人を思いやり尊重する心など、豊かな人間性を育む教育のより一層の推進につながった。 ○児童の基礎学力の向上や豊かな人間性を育てる教育を継続して実践していくため、教職員の資質の向上と併せ、各学校の創意工夫による効果的な実践活動が必要である。 | | | ○国や府等の研究指定校を受けて教育活動に取り組むことで、生徒の基礎学力の向上を図ることとともに、規範意識、コミュニケーション能力、人を思いやり尊重する心など、豊かな人間性を育む教育のより一層の推進につながった。 ○生徒の基礎学力の向上や豊かな人間性を育てる教育を継続して実践していくため、教職員の資質の向上を図ることとともに、規範意識、コミュニケーション能力、人を思いやり尊重する心など、豊かな人間性を育む教育のより一層の推進につながった。 ○生徒の基礎学力の向上や豊かな人間性を育てる教育を継続して実践していくため、教職員の資質の向上と併せ、各学校の創意工夫による効果的な実践活動が必要である。 | | | | |
| 主な財源 | | | | | | | | |
| 所管課 | 教育委員会事務局／学校教育課 | | | | | | | |

| 予算科目 | 10教育費 | 02小学校費 | 02教育振興費 | 04小学校教育推進事業 | 03中学校費 | 02教育振興費 | 04中学校教育推進事業 | |
|--|--|--|--|--|----------------|---------|-------------|--|
| 細事業名 | 02 小学校教育推進活動実践事業 | | | | 決算書 | | P.144 | |
| 総合計画 | 計画項目 | 26 未来を拓く学校教育の充実 | 計画項目 | 26 未来を拓く学校教育の充実 | 決算額 | ① 最終予算額 | (参考) 当初予算額 | |
| | | | | | 1,377千円 | 1,514千円 | 137千円 | |
| 目的 | ・国府等の研究指定校を受けて教育活動に取り組むとともに、体験活動や総合的な学習活動の充実、特色ある教育等を実践し、基礎学力の向上や豊かな人間性の育成を図る。 | ・国府等の研究指定校を受けて教育活動に取り組むとともに、体験活動や総合的な学習活動の充実、特色ある教育等を実践し、基礎学力の向上や豊かな人間性の育成を図る。 | ・国府等の研究指定校を受けて教育活動に取り組むとともに、体験活動や総合的な学習活動の充実、特色ある教育等を実践し、基礎学力の向上や豊かな人間性の育成を図る。 | ・国府等の研究指定校を受けて教育活動に取り組むとともに、体験活動や総合的な学習活動の充実、特色ある教育等を実践し、基礎学力の向上や豊かな人間性の育成を図る。 | 1,314千円 | | | |
| 主要な事務 | ・事業の概要 | ・事業の概要 | ・事業の概要 | ・事業の概要 | | | | |
| ○教育実践研究指定事業 | ・ちうすぐ1年生体験入学推進事業 府指定：かぶと山小学校 | 80千円 | 200千円 | ○教育実践研究指定事業 ・法やルールに関する教育研究指定事業 府指定：久美浜中学校区 | 200千円 | | | |
| ○校外学習や仕事・文化体験活動、総合的な学習活動 | 1,217千円 | | | ○校外学習や仕事・文化体験活動、総合的な学習活動 | 569千円 | | | |
| ・「KYO発見 仕事・文化体験事業」推進事業（府指定：全校） | 547千円 | | | ・「KYO発見 仕事・文化体験事業」推進事業（府指定：全校） | 360千円 | | | |
| ・総合的な学習活動推進事業（市指定：全校） | 670千円 | | | ・総合的な学習活動推進事業（市指定：全校） | 209千円 | | | |
| ○サイエンス・パートナーシップ校 | 36千円 | | | ○和装教育推進事業 | 238千円 | | | |
| 児童の科学技術、理科、算数への興味・関心や知的探究心を育成するため、京都工芸繊維大学と連携し「理科わくわく体験教室」を実施。 | | | | ・着付け体験学習（全中学校） | | | | |
| 実施校：久美浜小学校 | | | | 受講生徒 529人 | | | | |
| 実施日：平成29年7月4日（火） | | | | | | | | |
| 受講児童：4年生 19人 | | | | | | | | |
| ○学力向上システム開発校 | 250千円 | | | ○修学旅行引率補助金 | 112千円 | | | |
| 学力向上に係る課題に基づく実践上の取組を設定し、課題を克服するための新たな方策の開発に主体的に取り組む。 | | | | | | | | |
| 実施校：長岡小学校 | | | | | | | | |
| 実施年度：平成29年～30年度（2か年） | | | | | | | | |
| ○教育研究事業負担金 | 250千円 | | | | | | | |
| ○修学旅行引率補助金 | 404千円 | | | | | | | |
| 府補 府補 府委 | KYO発見仕事・文化体験活動推進事業補助金（2/3） もうすぐ1年生体験入学推進事業補助金（1/2） 学力向上システム開発事業費託金（10/10） | 364千円 40千円 250千円 | | KYO発見仕事・文化体験活動推進事業補助金（2/3） もうすぐ1年生体験入学推進事業補助金（10/10） | 274千円 200千円 | | | |
| 成果 | ○国や府等の研究指定校を受けて教育活動に取り組むことで、児童の基礎学力の向上を図ることとともに、規範意識、コミュニケーション能力、人を思いやり尊重する心など、豊かな人間性を育む教育のより一層の推進につながった。 ○児童の基礎学力の向上や豊かな人間性を育てる教育を継続して実践していくため、教職員の資質の向上と併せ、各学校の創意工夫による効果的な実践活動が必要である。 | | | ○国や府等の研究指定校を受けて教育活動に取り組むことで、生徒の基礎学力の向上を図ることとともに、規範意識、コミュニケーション能力、人を思いやり尊重する心など、豊かな人間性を育む教育のより一層の推進につながった。 ○生徒の基礎学力の向上や豊かな人間性を育てる教育を継続して実践していくため、教職員の資質の向上と併せ、各学校の創意工夫による効果的な実践活動が必要である。 | | | | |
| 主な財源 | | | | | | | | |
| 所管課 | 教育委員会事務局／学校教育課 | | | | | | | |

| | | | | | |
|-----------------|--|-----------------|---------|--|-----------|
| 予算科目 | 10教育費 | 01教育総務費 | 02事務局費 | 13いじめ防止推進事業 | |
| 細事業名 | 01 いじめ防止啓発推進事業 | | | | 決算書 P.140 |
| 総合計画 | 計画項目 | 26 未来を拓く学校教育の充実 | | | |
| 決算額 | 額 ① | 最 終 予 算 額 ② | 不 用 額 ③ | 執 行 率 ④ | 決算書 |
| | 194千円 | 335千円 | 141千円 | 57.9 % | P.140 |
| 目的 | 「京丹後市いじめ防止等基本方針」に基づくいじめ防止等のための啓発活動を実施し、市と市民が一体となっていじめの防止等のための効果を総合的かつ効果的に推進する。 | 335千円 | 390千円 | 178千円 | 390千円 |
| 主要な事業・事業の概要 | 11月を「いじめ防止推進月間」と位置付け、いじめ問題について正しく理解を深めてもらうとともに、意識の高揚を図るために、街頭キャラバンによる啓発グッズの配布や懸垂幕の設置を行った。また、学校、家庭、地域社会の連携強化を図るために、「いじめ防止講演会」を実施した。さらに、問題事象に対する迅速な対応や早期解決に向けた支援を行ったため、いじめ相談専用電話を設置した。 | 51千円 | 58千円 | 36千円 | 194千円 |
| C)報償費 | ・いじめ防止講演会講師謝金 開催日：平成29年11月21日（火） 会場：アグリセンターオ宮 講 師：医療法人 竹村診療所 脳卒心理室長 竹村 洋子 氏 参加者：72人 | 7千円 | 15千円 | 7千円 | 194千円 |
| O)需用費 | ・印刷製本費 いじめ防止啓発グッズ（PRカードシール 儿童生徒用4,450枚） ・消耗品費（講演会花代、事務用品） ・修繕料（いじめ防止懸垂幕） | 25千円 | 25千円 | 7千円 | 194千円 |
| ○)役務費 | ・いじめ相談専用電話設置費 フリーダイヤル利用料、いじめ相談専用携帯電話利用料 相談受付：24時間対応 対応者：教育委員会事務局指導主事、臨床心理士 ※いじめ相談件数：0件 | 60千円 | 60千円 | 66千円 | 66千円 |
| ○)インターネットモラル研修会 | 開催日：平成29年8月8日（火） 会場：アグリセンターオ宮 講 師：ソーシャルメディア研究会 竹内 義博 氏 参加者：48人 | 60千円 | 60千円 | 16千円 | 16千円 |
| 主な財源 | 国補 教育支援体制整備事業費補助金（1/3） | 64千円 | 64千円 | | |
| 成果・課題 | ○いじめ防止講演会及び街頭啓発キャンペーンを通じて、広く市民にいじめの問題等について、正しい認識や意識の高揚を図ることができた。 ○スマートフォン等を利用したSNSなど、インターネットを介した詐欺中傷やいじめ事象が増加傾向にあることから、保護者への啓発活動と共に教職員の指導力の向上を図る必要がある。 | | | ○専門的な立場から指導・助言を受けることにより、学校に対しても防ぐことができた。 ○いじめのは、どの子どもにも、どの学校でも起こりうることであることを踏まえ、いじめの未然防止の取組を実施する必要がある。 | |
| 所管課 | 教育委員会事務局／学校教育課 | | | | |

| | | | | | |
|-----------------|--|-----------------|---------|--|-----------|
| 予算科目 | 10教育費 | 01教育総務費 | 02事務局費 | 13いじめ防止推進事業 | |
| 細事業名 | 01 いじめ防止啓発推進事業 | | | | 決算書 P.140 |
| 総合計画 | 計画項目 | 26 未来を拓く学校教育の充実 | | | |
| 決算額 | 額 ① | 最 終 予 算 額 ② | 不 用 額 ③ | 執 行 率 ④ | 決算書 |
| | 194千円 | 335千円 | 141千円 | 57.9 % | P.140 |
| 目的 | 「京丹後市いじめ防止等基本方針」に基づくいじめ防止等のための啓発活動を実施し、市と市民が一体となっていじめの防止等のための効果を総合的かつ効果的に推進する。 | 335千円 | 390千円 | 178千円 | 390千円 |
| 主要な事業・事業の概要 | 11月を「いじめ防止推進月間」と位置付け、いじめ問題について正しく理解を深めてもらうとともに、意識の高揚を図るために、街頭キャラバンによる啓発グッズの配布や懸垂幕の設置を行った。また、学校、家庭、地域社会の連携強化を図るために、「いじめ防止講演会」を実施した。さらに、問題事象に対する迅速な対応や早期解決に向けた支援を行ったため、いじめ相談専用電話を設置した。 | 51千円 | 58千円 | 36千円 | 194千円 |
| C)報償費 | ・いじめ防止講演会講師謝金 開催日：平成29年11月21日（火） 会場：アグリセンターオ宮 講 師：医療法人 竹村診療所 脳卒心理室長 竹村 洋子 氏 参加者：72人 | 7千円 | 15千円 | 7千円 | 194千円 |
| O)需用費 | ・印刷製本費 いじめ防止啓発グッズ（PRカードシール 儿童生徒用4,450枚） ・消耗品費（講演会花代、事務用品） ・修繕料（いじめ防止懸垂幕） | 25千円 | 25千円 | 7千円 | 194千円 |
| ○)役務費 | ・いじめ相談専用電話設置費 フリーダイヤル利用料、いじめ相談専用携帯電話利用料 相談受付：24時間対応 対応者：教育委員会事務局指導主事、臨床心理士 ※いじめ相談件数：0件 | 60千円 | 60千円 | 66千円 | 66千円 |
| ○)インターネットモラル研修会 | 開催日：平成29年8月8日（火） 会場：アグリセンターオ宮 講 師：ソーシャルメディア研究会 竹内 義博 氏 参加者：48人 | 60千円 | 60千円 | 16千円 | 16千円 |
| 主な財源 | 国補 教育支援体制整備事業費補助金（1/3） | 64千円 | 64千円 | | |
| 成果・課題 | ○いじめ防止講演会及び街頭啓発キャンペーンを通じて、広く市民にいじめの問題等について、正しい認識や意識の高揚を図ることができた。 ○スマートフォン等を利用したSNSなど、インターネットを介した詐欺中傷やいじめ事象が増加傾向にあることから、保護者への啓発活動と共に教職員の指導力の向上を図る必要がある。 | | | ○専門的な立場から指導・助言を受けることにより、学校に対しても防ぐことができた。 ○いじめのは、どの子どもにも、どの学校でも起こりうることであることを踏まえ、いじめの未然防止の取組を実施する必要がある。 | |
| 所管課 | 教育委員会事務局／学校教育課 | | | | |

| 予算科目 | 10教育費 | 01教育総務費 | 02事務局費 | 03指導主事設置事業 | 10就学支援・教育相談事業 | |
|----------|--|--|-------------------------------------|--|---|------------------|
| 細事業名 | 01 就学支援・教育相談事業 | | | | 決算書 P.140 | |
| 総合計画 | 計画項目 | 26 未来を拓く学校教育の充実 | | | | |
| 決算額 | ① 最終予算額 | ② 不用額 | ③ 執行率(①) (%) | ④ 執行率(②) (%) | ⑤ 不用額 | ⑥ 決算額(参考) 当初予算額 |
| 9,939千円 | 9,988千円 | 49千円 | 99.5% | 99.5% | 1,745千円 | 1,724千円 9,953千円 |
| 目的 | 非常勤指導主事を配置し、学校教育及び就学前教育の充実を図るとともに、円滑な学校経営を推進する。 | ○ 4人の非常勤指導主事を各地域公民館に配置し、学校経営や教育内容について、その専門性と見識や経験を活かした指導、助言を行い、学校現場における課題解消に向けて対応した。 ○報酬 ・指導主事報酬 (166,500円×4人×12か月) ○共済費 ・社会保険料、雇用保険料 ○旅費 ・費用弁償 ○需用費 ・消耗品費 | 7,992千円 1,314千円 623千円 10千円 | 相談会場 ・実施回数 ・相談件数 ・教育相談担当者研修 (年3回)、小の教室相談員研修 (年3回) ・事例研修 (2グループ (1グループ4人)) 各グループ5回実施 ○教育支援に係る発達検査備品購入費 ADOS-2自閉症診断検査日本語版スタートセット WISC-IV知能検査コンピュートセット、KABC-2発達検査基本セット ○教育支援に係る発達検査用紙購入費 (消耗品) WISC-IV知能検査記録用紙、新版構音検査等 ○教育支援に係る発達検査器具借用料 日本語版感覚統合検査JPAN感覚処理・行為機能検査 | 909千円 ※11月以降は教育委員会の臨床心理士により実施した 47件 (延べ件数) ・教室相談員研修 (年3回)、小の教室相談員研修 (年3回) ・事例研修 (2グループ (1グループ4人)) 各グループ5回実施 15千円 | 240千円 2,145千円 |
| 主要な事業の概要 | ○ 教育相談委託料 各学校において教育相談を担当する教職員や児童生徒、保護者に対し、相談事例に応じたアドバイスや助言を行うため、カウンセリングの専門的知識を有する相談員 (臨床心理士) による教育相談事業や研修を実施した。 | ○ 教育支援に係る発達検査備品購入費 ADOS-2自閉症診断検査日本語版スタートセット WISC-IV知能検査コンピュートセット、KABC-2発達検査基本セット ○ 教育支援に係る発達検査用紙購入費 (消耗品) WISC-IV知能検査記録用紙、新版構音検査等 ○ 教育支援に係る発達検査器具借用料 日本語版感覚統合検査JPAN感覚処理・行為機能検査 | 500千円 | | | |
| 主要な財源 | ○ 企補 ・未未づくり交付金 (就学支援・教育相談事業) | 500千円 | | | | |
| 成果・課題 | ○ 専門性の高い臨床心理士による研修や教育相談を実施することによって、個別ケースの不登校の解説など、児童生徒の学校適応が促進された。 ○児童生徒の教育支援を適切に進めることで、発達検査の実施や分析について教員対象の研修を実施する必要がある。 ○不登校をさらに解消するため、教育相談を充実させる必要がある。 | 500千円 | | | | |
| 所管課 | ○ 教育委員会事務局／学校教育課 | | | | | |

| 予算科目 | 10教育費 | 01教育総務費 | 02事務局費 | 03指導主事設置事業 | 10就学支援・教育相談事業 | |
|----------|--|--|-------------------------------------|---|---|------------------|
| 細事業名 | 01 就学支援・教育相談事業 | | | | 決算書 P.140 | |
| 総合計画 | 計画項目 | 26 未来を拓く学校教育の充実 | | | | |
| 決算額 | ① 最終予算額 | ② 不用額 | ③ 執行率(①) (%) | ④ 執行率(②) (%) | ⑤ 不用額 | ⑥ 決算額(参考) 当初予算額 |
| 9,939千円 | 9,988千円 | 49千円 | 99.5% | 99.5% | 1,745千円 | 1,724千円 9,953千円 |
| 目的 | ○ 4人の非常勤指導主事を配置し、学校教育及び就学前教育の充実を図るとともに、円滑な学校経営を推進する。 | ○ 4人の非常勤指導主事を各地域公民館に配置し、学校経営や教育内容について、その専門性と見識や経験を活かした指導、助言を行い、学校現場における課題解消に向けて対応した。 ○報酬 ・指導主事報酬 (166,500円×4人×12か月) ○共済費 ・社会保険料、雇用保険料 ○旅費 ・費用弁償 ○需用費 ・消耗品費 | 7,992千円 1,314千円 623千円 10千円 | ○教育支援に係る発達検査備品購入費 ADOS-2自閉症診断検査日本語版スタートセット WISC-IV知能検査コンピュートセット、KABC-2発達検査基本セット ○教育支援に係る発達検査用紙購入費 (消耗品) WISC-IV知能検査記録用紙、新版構音検査等 ○教育支援に係る発達検査器具借用料 日本語版感覚統合検査JPAN感覚処理・行為機能検査 | 909千円 ※11月以降は教育委員会の臨床心理士により実施した 47件 (延べ件数) ・教室相談員研修 (年3回)、小の教室相談員研修 (年3回) ・事例研修 (2グループ (1グループ4人)) 各グループ5回実施 15千円 | 240千円 2,145千円 |
| 主要な事業の概要 | ○ 教育相談委託料 各学校において教育相談を担当する教職員や児童生徒、保護者に対し、相談事例に応じたアドバイスや助言を行うため、カウンセリングの専門的知識を有する相談員 (臨床心理士) による教育相談事業や研修を実施した。 | ○ 教育支援に係る発達検査備品購入費 ADOS-2自閉症診断検査日本語版スタートセット WISC-IV知能検査コンピュートセット、KABC-2発達検査基本セット ○ 教育支援に係る発達検査用紙購入費 (消耗品) WISC-IV知能検査記録用紙、新版構音検査等 ○ 教育支援に係る発達検査器具借用料 日本語版感覚統合検査JPAN感覚処理・行為機能検査 | 500千円 | | | |
| 主要な財源 | ○ 企補 ・未未づくり交付金 (就学支援・教育相談事業) | 500千円 | | | | |
| 成果・課題 | ○ 専門性の高い臨床心理士による研修や教育相談をもとにした指導や助言を行って、児童生徒の教育内容に対する専門的知識や豊かな経験をもとにした指導や助言を行ったことにより、不登校を含めた生徒指導上の諸問題への対応など、複雑多様化する教育現場の諸課題の克服に資することができた。 | 500千円 | | | | |
| 所管課 | ○ 教育委員会事務局／学校教育課 | | | | | |

| 予算科目 | 10教育費 | 02小学校費 | 02教育振興費 | 04小学校教育推進事業 | | | |
|-------------|---|-----------------|---------|-------------|-----|-----|----|
| 総事業名 | 01 小学校スクールサボル・ター等設置事業 | | | 決算書 | | | |
| 総合計画 | 計画項目 | 26 未来を拓く学校教育の充実 | | P.144 | | | |
| 決算額 | ① 最終予算額 | ② 不用額 | ③ 執行率 | (参考) 当初予算額 | | | |
| 48,324千円 | 48,645千円 | 321千円 | 99.3% | 52,453千円 | | | |
| 目的 | スクールサボル・ターを配置し、児童一人ひとりの課題・特性を的確に把握し、よりきめ細やかな指導に努めるとともに、円滑な授業を実施する。 | | | | | | |
| 主要な事務・事業の概要 | <p>○介護職員兼学校図書館支援加配 13人 (1日7時間45分、週5日勤務)</p> <p>○介護職員 14人 (1日7時間、週5日勤務)</p> <p>○心の教室相談員兼学校図書館支援加配 1人 (1日7時間、週5日勤務)</p> <p>心の教室相談員：大宮第一小学校 学校図書館支援加配：峰山小学校</p> <p>○語師（複式加配）：丹波川小学校 1人 (1日7時間)</p> <p>○学校図書館支援加配 2人 (1日7時間)</p> <p>いさなご、丹波、長岡、吉野小学校に週1日勤務</p> <p>大宮南小学校に週1日勤務（学校事務補助と兼務）</p> <p>・臨時職員賃金 39,862千円</p> <p>・共済費（社会保険料、労災保険料、雇用保険料） 7,091千円</p> <p>・事務費（校外学習引率に伴う旅費、入湯料、参加費・奨励金） 18千円</p> <p>・委託料（児童の看護・介護委託料） 1,353千円</p> | | | | | | |
| 配当一覧 | | | | | | | |
| 学校名 | 介護 | 相談員 | 語師 | 学校名 | 介護 | 相談員 | 語師 |
| 峰山小 | 2人 | | | 豊栄小 | 1人 | | |
| 新山小 | 3人 | | | 間人小 | 1人 | | |
| 丹波小 | 1人 | | | 宇川小 | 1人 | | |
| 大宮第一小 | 3人 | 1人 | | 吉野小 | 1人 | | |
| 大宮南小 | 2人 | | | 弥栄小 | 1人 | | |
| 網野北小 | 2人 | | | 久美浜小 | 1人 | | |
| 網野南小 | 2人 | | | 高龍小 | 1人 | | |
| 島津小 | 1人 | | | かぶと山小 | 2人 | | |
| 橋小 | 2人 | | | 計 | 27人 | 1人 | 1人 |
| 主な財源 | | | | | | | |
| 成果・課題 | ○必要に応じてスクールサポーターを配置することで、円滑な授業や効率的な学校運営を行なうことができた。 ○各校に学校図書館支援加配を配置することで、学校図書館の充実を図ることができた。 ○児童一人ひとりの課題・特性を的確に把握するなどもに、必要とする学校を的確に見つめ、効果的なスクールサポーターの配置に努めていく必要がある。 | | | | | | |

| 予算科目 | 10教育費 | 01教育総務費 | 02事務局費 | 10就学支援・教育相談事業 |
|----------------------------------|---|--------------------------|----------|---|
| 細事業名 | 02 教育支援センター-管理運営事業 | | | 決算書 P.140 |
| 総合計画 | 計画項目 | 26 未来を拓く学校教育の充実 | | |
| 決算額 | ① 最終予算額 | ② 不用額 | (②-①) | 執行率 (参考) 当初予算額 8,628千円 |
| | 8,308千円 | 8,522千円 | 214千円 | 97.4 % |
| 目的 | 不登校、又はその傾向にある児童生徒の学校生活への復帰と社会的自立を支援する。 不登校等における児童生徒に対し、相談及び適応指導を通じ、学校生活への復帰と社会的自立を支援するため、京丹後市教育支援センター「麦わら」の指導員が学校訪問等を行つともに、関係機関や学校と連携しながら支援を行つた。 | | | |
| 主要な事務・事業の概要 | | | | |
| 教育支援センター運営経費 | | | | |
| 配置人数 | 5人 | 教育支援センター指導員 | | 839千円 |
| 配置体制 | 3人体制 指導員 | ①週2日 1日7時間 ②週3日 1日7時間 | 1人 4人 | 6,801千円 11千円 235千円 51千円 148千円 |
| 通所者 | 17人 | | | |
| 相談延べ件数 | 1,140件 | | | |
| 来所延べ人数 | 1,741人 | | | |
| ○共済費（社会保険料、労災保険料） | | | | |
| ○臨時職員賃金（指導員） | | | | |
| ○旅費（研修会出席） | | | | |
| ○需用費（消耗品費、燃料費、食糧費、修繕料） | | | | |
| ○役務費（電話代、切手代、クリーニング手数料、自動車損害保険料） | | | | |
| ○教育相談委託料 | | | | |
| ○バス運転委託料（野外体験学習） | 47件 | | | |
| ○備品購入費（工アコン、掃除機） | | | | |
| 総入金 | ふるさと雇農基金繰入金 | | | 5,000千円 |
| 主な財源 | | | | |
| 成果・課題 | | | | |
| | ○専門性の高い指導員による児童生徒等への学習・生活支援や、臨床心理士によるカウンセリングなどにより、個々のケースに応じた支援を行い、学校復帰、社会的自立を図ることことができた。 ○教育支援センターの機能や役割について、児童生徒や保護者への更なる周知が必要である。 | | | |

| | | | | | |
|-----------------------------|---|---|---|--------------------|-------|
| 予算科目 | 01教育費 | 03中学校費 | 02教育振興費 | 04中学校教育推進事業 | |
| 細事業名 | 01 中学校スクールサポーター等設置事業 | | | 決算書 | P.146 |
| 総合計画 | 計画項目 | 26 未来を拓く学校教育の充実 | | | |
| 決算額 | ① 最終予算額 | ② 不用額 | ③ 執行率 | (参考)当初予算額 | |
| 44,918千円 | 45,837千円 | 919千円 | 97.9% | 49,952千円 | |
| 目的 | スクールサポーターを配置し、生徒一人ひとりの課題・特性を的確に把握し、よりきめ細やかな指導に努めるとともに、円滑な授業を実施する。 | | | | |
| 主要な事務・事業の概要 | ○介護職員 ○講師（小中一貫講師） ○講師（小中一貫コーディネーター） ○心の教室相談員兼学校図書館支援加配 ・臨時職員賃金 ・共済費（社会保険料、労災保険料、雇用保険料） | 6人 6人 6人 6人 38,215千円 6,703千円 | （1日7時間、週5日勤務） (1日7時間45分、週5日勤務) (1日7時間45分、週4日勤務) (1日7時間45分、週5日勤務) | (参考)当初予算額 919千円 | |
| 配属一覧 | | | | | |
| 学校名 | 介護 | 小中一貫 | 相談員 | 計 | |
| 峰山中 | 1人 | 1人 | 1人 | 4人 | |
| 大宮中 | 0人 | 1人 | 1人 | 3人 | |
| 網野中 | 2人 | 1人 | 1人 | 5人 | |
| 丹後中 | 1人 | 1人 | 1人 | 4人 | |
| 弥栄中 | 1人 | 1人 | 1人 | 4人 | |
| 久美浜中 | 1人 | 1人 | 1人 | 4人 | |
| 計 | 6人 | 6人 | 6人 | 24人 | |
| ○要保護児童相談等取扱件数（児童票を起こしているもの） | | | | | |
| 種別 | 詳細 | 件数 | 種別 | 詳細 | 件数 |
| 養護 | 児童虐待 | 134 | 育成 | 不登校 | 8 |
| その他 | その他 | 160 | その他 | その他 | 19 |
| 障害 | 癡達障害 | 2 | 計 | 計 | 323 |
| ○要保護児童相談地域協議会運営状況 | | | | | |
| 会議名 | 回数 | 会議名 | 回数 | | |
| 代表者・実務者会議 | 2 | ケース検討会議 | 141 | | |
| ケース進行管理会議 | 6 | 講演会（11月25日） | 1 | 参加者 | 134人 |
| *街頭啓発（児童虐待防止才レンジリボンキャンペーン） | | | | | |
| 主な財源 | | | | | |
| 成果 | ○調整担当者研修・社会福祉主事資格認定講習を受講し、複雑・多様化する家庭児童問題にに対応するための専門的知識の向上に努めた。 ○面談・家庭訪問・電話相談の実施、ケース検討会議の開催、要保護児童対策地域協議会の取組等により、さまざまなお課題のある家庭への支援や対応を行つた。 ○適切で迅速な支援を行うために、担当者の研鑽を重ねるどもに、関係機関との連携をさらに深めていくことが必要である。 | | | | |
| 所管 | 教育委員会事務局／学校教育課 | | | | |

| | | | | | |
|----------|--|-----------------|---------|-------------|-------|
| 予算科目 | 01教育費 | 03中学校費 | 02教育振興費 | 04中学校教育推進事業 | |
| 細事業名 | 01 中学校スクールサポーター等設置事業 | | | 決算書 | P.146 |
| 総合計画 | 計画項目 | 26 未来を拓く学校教育の充実 | | | |
| 決算額 | ① 最終予算額 | ② 不用額 | ③ 執行率 | (参考)当初予算額 | |
| 44,918千円 | 45,837千円 | 919千円 | 97.9% | 49,952千円 | |
| 目的 | スクールサポーターを配置し、生徒一人ひとりの課題・特性を的確に把握し、課題に応じてスクールサポーターを配置することで、円滑な授業や効率的な学校運営を行つことができた。 ○各校に学校図書館支援加配を配置することと、学校図書館の充実を図ることができる。 ○生徒一人ひとりの課題・特性を的確に把握し、効果的なスクールサポーターの配置に努め、必要とする学校を的確に見極め、必要な支援を提供する。 | | | | |
| 主な財源 | | | | | |
| 成果 | ○必要に応じてスクールサポーターを配置することで、円滑な授業や効率的な学校運営を行つることができた。 ○各校に学校図書館支援加配を配置することと、学校図書館の充実を図ることができる。 ○生徒一人ひとりの課題・特性を的確に把握し、課題に応じてスクールサポーターを配置することで、円滑な授業や効率的な学校運営を行つことができた。 ○各校に学校図書館支援加配を配置することと、学校図書館の充実を図ることができる。 | | | | |
| 所管 | 教育委員会事務局／学校教育課 | | | | |

| 予算科目 | 01教育費 | 05社会教育費 | 01社会教育総務費 | 10家庭教育事業 | |
|---------------|--|---|--------------------------------|----------------------------------|-----------|
| 細事業名 | 01 家庭教育事業 | | | | 決算書 P.148 |
| 総合計画 | 計画項目 | 27 多様な学びを支援する社会教育の充実 | | | |
| 目的 | 子どもの成長の基礎となる家庭教育の支援を推進するため、発達段階に応じた学習機会を提供し、きめ細やかな家庭教育の支援を実施する。 | ○ 幼児期から就学前、学童期、思春期の各発達段階に応じた学習機会の提供と家庭教育支援チームによる子育て支援活動を実施した。また、引き続きPTA活動の支援を行った。 | 294千円 | | |
| 主要な事務・事業の概要 | ○ 子育て講座 | 事業 幼児期子育て講座 就学前、学童期、思春期子育て講座 合計 | 回数 6回 7回 13回 | 延べ参加者数 130人 266人 396人 | |
| ○ 家庭教育支援チーム事業 | ※家庭教育支援チーム：各地域公民館に計6チーム。子育てサポーター計45人。 | 834千円 | | | |
| | 地域や家庭の教育力の低下、子育ての孤立化により、悩みや不安を抱えている親に対して、子育て経験者や専門的な知識や経験を持つ「家庭教育支援チーム」を各地域公民館で組織し、地域課題に即した子育て支援活動を行った。 | | | | |
| ○ 子育て交流会 | 「手紙で結ぶ家族の絆」事業 | 29回 | 421人 | 実施チーム 金チーム | 9,537千円 |
| | 子育て広場 高校生と赤ちゃんのふれあい交流 合計 | 3回 10回 18回 60回 | 185人 221人 201人 1,028人 | 峰山、網野、弥栄 金チーム 金チーム 全チーム | 146,353千円 |
| ○ 伝報誌発行（金チーム） | 研究大会の開催、子育て講演会の開催、各種研修会の参加、安全会議等への助成 | 553千円 | 749千円 | | |
| 主な財源 | 府補 家庭教育支援基盤形成事業費補助金（2/3） | | | | |
| 成果・課題 | ○ 子どもの発達段階に応じた学習機会を提供し、子どもとのコミュニケーションの大切さや、生活習慣を身に着けさせるための家庭の役割などの重要性について、認識を深めていた。ただくことでもできた。 ○ 関係機関で課題を共有し、より効果的な学習会等の実施を図る必要がある。 | | | | |
| 所管課 | 教育委員会事務局／生涯学習課 | | | | |

| 予算科目 | 03民生費 | 02児童福祉費 | 01児童福祉総務費 | 02放課後児童健全育成事業 | |
|--|---|---|---|---------------|------------------------|
| 細事業名 | 01 放課後児童健全育成事業 | | | | 決算書 P.94 |
| 総合計画 | 計画項目 | 25 子育て支援の総合的な推進 | | | |
| 目的 | 保護者の就労等により放課後及び長期休業期の児童を与えることにより、その健全な育成を図る。 | ○ 保護者の就労等により放課後及び長期休業期等の期間に家庭保育を受けることのできない児童を対象に、安心して生活できる場を提供することで、子どもたちの健やかな成長に努めた。 | 166,462千円 | 167,049千円 | 587千円 99.6 % 178,328千円 |
| 主要な事務・事業の概要 | ○ 開設状況 年間開設日数：282日 開設時間：授業終了後～午後6時30分（長期休業期及び土曜日は午前7時30分～） 年間平均児童数：413人 峰山49人・長岡17人・いさなご42人・大宮52人 口大野①45人・口大野②26人・網野南32人・網野北33人 丹後29人・弥栄26人・久美浜①38人・久美浜②24人 | | | | |
| ○ 委託料（消防設備・浄化槽点検、児童送迎車運転、IT工事設計監理等） | ○ 需用費（消耗品費、燃料費、光熱水費等） | 5,398千円 | | | |
| ○ 放課後児童健全育成事業委託料 | ○ 委託料（消防設備・浄化槽点検、児童送迎車運転、IT工事設計監理等） | 9,537千円 | | | |
| ○ 工事請負額（久美浜：IT工事設置工事、峰山、口大野・久美浜：網戸設置工事等） | ○ 備品購入費（AED5台セット、ドライブレコーダー12台） | 2,455千円 | | | |
| ○ その他収益（火災・自動車共済等保険料・自動車重量税ほか） | ○ その他の収益（火災・自動車重量税ほか） | 1,547千円 | | | |
| ○ 放課後児童健全育成施設整備事業費（合併特例費） | ○ 放課後児童健全育成施設整備事業費（合併特例費） | 1,172千円 | | | |
| 主な財源 | 使用料 国補 府補 市債 | 放課後児童健全育成事業利用料、公有財産使用料 子ども・子育て支援交付金（1/3） 子ども・子育て支援交付金（1/3） 旧満谷保育所光熱水費等負担金 | 28,529千円 20,999千円 20,999千円 286千円 | | |
| 成果・課題 | ○ 利用者数が増加傾向にある中、久美浜では1クラスを増やすなど待機児童ゼロを継続し、児童の健全な育成を図ることとともに、保護者の子育てと就労の両立を支援した。 ○ 年々増加傾向にある利用者に対応するために、小学校の空き教室の活用など施設拡充を検討する必要がある。 | | | | |
| 所管課 | 教育委員会事務局／生涯学習課 | | | | |

| | | | | | | | | | |
|-------------|--|------------------|---|---------------------------|---------------------|-----------------------|--------------------------|-------|------|
| 予算科目 | 10教育費 | 05社会教育費 | 01社会教育総務費 | 18子ども放課後対策推進事業 | | | | | |
| 細事業名 | 01 子ども放課後対策推進事業 | | | | | | | | |
| 総合計画項目 | 25 子育て支援の総合的な推進 | | | | | | | | |
| 決算画面 | 計画項目 | 01 放課後子ども総合アラジ事業 | | | | | | | |
| 総合 | 決算額 | 0千円 | 計画額 | 25 子育て支援の総合的な推進 | | | | | |
| 目的 | 放課後等に小学校の余裕教室等を子どもたちが心豊かに育まれる環境づくりを推進する。 地域住民の参画により、子どもたちが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。 | 883千円 | 最終予算額 | ① 執行率 (参考) 当初予算額 900千円 | ② 不用額 (②-①) 17千円 | ③ 不用率 (②-①) 98.1 % | ④ 執行率 (参考) 当初予算額 60千円 | 0.0 % | 60千円 |
| 主要な事務・事業の概要 | ○委託料 放課後子ども教室運営委託料（2箇所） | 883千円 | 任期末了に伴い、必要な審議等を子ども未来まちづくり審議会にて行うこととしたため、不執行 | | | | | | |
| 決算書 | P.148 | | | | | | | | |
| 決算書 | | | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|---|----------------------------|-----------------------|-----------------------|---------------------------|---------------------|-----------------------|
| 予算科目 | 10教育費 | 05社会教育費 | 01社会教育総務費 | 18子ども放課後対策推進事業 | | | |
| 細事業名 | 01 子ども放課後対策推進事業 | | | | | | |
| 総合計画項目 | 25 子育て支援の総合的な推進 | | | | | | |
| 決算額 | ① 最終予算額 | ② 不用額 | ③ 執行率 (②-①) 98.1 % | ④ 不用率 (②-①) 98.1 % | ⑤ 執行率 (参考) 当初予算額 900千円 | ⑥ 不用額 (⑤-④) 17千円 | ⑦ 不用率 (⑥-④) 98.1 % |
| 目的 | 放課後等に小学校の余裕教室等を子どもたちが心豊かに育まれる環境づくりを推進する。 地域住民の参画により、子どもたちが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。 | 883千円 | | | | | |
| 主要な事務・事業の概要 | ○委託料 放課後子ども教室運営委託料（2箇所） | 883千円 | | | | | |
| ※事業の概要 | | | | | | | |
| 実施場所 | 網野北小学校区放課後子ども教室 | 網野南小学校区放課後子ども教室 | | | | | |
| 委託先 | 網野北小学校施設内 | 網野南小学校施設内 | | | | | |
| 参加児童数 | 放課後子ども教室実行委員会 | 放課後子ども教室実行委員会 | | | | | |
| 支援員の数 | 延べ512人（1回平均13人） | 延べ1,563人（1回平均39人） | | | | | |
| 実施日 | 延べ328人（1回平均8人） | 延べ377人（1回平均9人） | | | | | |
| 活動内容 | 平成29年4月～平成30年3月（受業のある水曜日の放課後）40回 | 自主学習、体験活動、集団遊び、自由遊び、スポーツなど | | | | | |
| 主な財源 | 府補 京のまなび教室推進事業費補助金（2/3） | 588千円 | | | | | |
| 成果・課題 | ○子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）として放課後子ども教室を開設し、子ども達は異年齢の方と交流し、地域住民の協力を得てさまざまな体験活動を実施することができる。 ○運営は地域住民の協力を得て実施することになっており、スタッフの確保が課題である。 | | | | | | |
| 所管課 | 教育委員会事務局／子ども未来課 | | | | | | |